

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)	◎	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス次第である。
	◎	都市型ホテル（営業担当）	・5月は新型コロナウイルスの影響で、一番底の稼働になっていることから、3か月後は、急激な改善はないが、少し良くなる。
	○	一般小売店〔青果〕（店長）	・今月末で緊急事態宣言も一旦解除され、新型コロナウイルス感染拡大の第2、第3波がなければ、3～4月よりは少しずつ良くなっていくのではないかと。
	○	百貨店（営業担当）	・ゆっくりと元の日常に戻ってほしいが、こればかりはどうなるか分からない。今の状況が今後3か月続くと仮定すれば、客足も今よりは少しは増え、やや良くなる。
	○	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの影響が収束するため、やや良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がかなり収束し、国の緊急事態宣言も解除され、多少は来客数が戻ってくるのではないかと。
	○	コンビニ（経営者）	・これから夏場にかけては緊急事態宣言解除もあり、少しは持ち直すとみている。しかし、新型コロナウイルス流行の第2波、第3波の警戒のため、コロナ以前には戻らず、冬に向かうのではないかと。収束がみえないことが、非常に心配である。
	○	乗用車販売店（販売担当）	・この先は、新型コロナウイルス騒ぎも徐々に収まってくるのではないかと。それに伴い、私たちも営業に動けるので、販売量も増えてくるのではないかと。
	○	自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの収束と同時に、人や経済が動き、また、10万円の定額給付金もあるので、やや購買意欲も高まり、人の動きが活発化してくるのではないかと。
	○	住関連専門店（仕入担当）	・少しずつ生活に動きが出てきており、徐々に来客数は増える傾向にある。先行きは不透明だが、新しい日常に対応する形で景気は徐々に回復するのではないかと。
	○	一般レストラン（経営者）	・今までのように戻るのにはまだ先だろうが、少しずつ客足が戻ることを期待したい。食事会や宴会がないのは厳しいが、テイクアウトと店内飲食のバランスを取りながら、やるしかない。
	○	都市型ホテル（副支配人）	・従来のように決して戻らないだろうが、宿泊は徐々に問合せやインターネット予約が動いてきている。しかし、レストランの休業はしばらく継続する予定である。
	○	旅行代理店（経営者）	・夏休みが控えており、政府の「Go To Travel キャンペーン」に期待している。
	○	旅行代理店（従業員）	・解除後の国の「Go To Travel キャンペーン」でどれだけ戻せるかにかかっている。
	○	通信会社（社員）	・コロナ禍の自粛要請が解除されつつあるが、家庭で過ごす時間が増え、通信環境設備を整える案件が増えそうである。
	○	通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言解除に伴い、景気の回復はみられるが、新型コロナウイルス感染の第2波の影響が生じれば、悪化はやむを得ないのではないかと。
	○	通信会社（総務担当）	・新型コロナウイルス感染の第2波で、再び行動に制限がかからなければ、客とスタッフ両者の安全に配慮した店舗運営の技術が向上し、新型コロナウイルスへの不安はあるものの、感染に留意した経済活動が動き出すのではないかと。
	○	通信会社（局長）	・緊急事態宣言が解除されたが、営業活動は慎重な対応が必要であり、客からの問合せ件数自体も、微増程度である。
	○	ゴルフ場（総務担当）	・緊急事態宣言が解除され、徐々に客足が戻るものと希望感を込めて、予想する。
	○	設計事務所（所長）	・緊急事態宣言が解除され、徐々にではあるが人の動きが出てきて、現状よりは良くなる。
○	住宅販売会社（経営者）	・緊急事態宣言が解除となり、客の動きが出てくると思われるが、すぐに回復は見込めない。相当な時間がかかりそうだが、現状よりは良くなる。	
□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・何とか新型コロナウイルスに対抗して、普通の生活ができるようにと皆が希望している。	
□	百貨店（営業担当）	・緊急事態宣言解除後においても、当面自粛が想定される。こうしたなか、この先数か月は、集客のためのイベントや販促の自粛を余儀なくされるため、従来と違った運営方法を考えなければならぬ。景況回復には長期を要する。	
□	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルス感染拡大の第2波を警戒しなくてはならないので、まだ予断は許さない。	

□	衣料品専門店（統括）	・新型コロナウイルス感染拡大予防の緊急事態宣言が全国に出された。徐々に解除されているが、祭りなどの人が密集するものについては、まだまだ解除はないような感じである。早くこの問題が解決してくれればと思っている。
□	衣料品専門店（販売担当）	・婦人服、衣料品関係の店だが、2か月くらい前から急ぎよ、メーカーもマスクを作り始め、当店でも独自ルートで手作りマスクの販売をしている。それで幾らか、日銭を稼げている状況で、大物は全く動かず冷え込んでいる。景気どうこうというよりも、経済活動につながっていない。今後もずっとこの状況は続くのではないかと。
□	家電量販店（店長）	・特別定額給付金や猛暑予報、更に東京オリンピック需要もあるので、現状の良い状況のまま、変わらない。
□	家電量販店（営業担当）	・生活の安定が見えないため、無駄な商材購入は控えているようである。
□	乗用車販売店（経営者）	・自粛ムードで、自動車を購入したいという雰囲気にならないようである。
□	乗用車販売店（販売担当）	・当県も緊急事態宣言解除の県だが、解除されても一気に良くなるとは思っていない。観光客も、県をまたいだ旅行は今のところ控えてほしいということで、この先、本当に新型コロナウイルスが収束となり、人が出始めれば元に戻ると思うが、どちらにしても、現状では2～3か月先のことは全く読めない。今の状態から、良くなるのか悪くなるのか、これ以上は悪くなることはないと思うが、良くなるという予測もできないので、不安である。
□	乗用車販売店（統括）	・新型コロナウイルスの自粛ムードが続いていると思われる。
□	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・来客数が激減した状態がこのまま続きそうである。
□	一般レストラン（経営者）	・来客数が減少しており、団体客数も減っている。
□	一般レストラン（経営者）	・3～4月に予定されていた歓送迎会、謝恩会などの需要は、時機を逃したため、戻ってはこないとみている。
□	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・今後の景気の良しあしは、社会的情勢による。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、宿泊、宴会、レストラン共に、先行きの見通せない状況が続いている。全体的な売上も前年比16%である。緊急事態宣言が解除され、県をまたぐ移動の自粛も解除されない限り、消費マインドはホテル業界には向かないのではないかと。
□	旅行代理店（所長）	・徐々に新型コロナウイルス感染拡大が減少し、少しずつ動きが出てくることに期待はしている。ただし、大きな伸びは当面期待できず、「新しい生活様式」が定着しないと観光需要の復活は先となる気がする。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	・この先どうなるか、見通しも見当もつかない状態である。
▲	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスに関連し、衣料雑貨系の取引先から撤退希望等が相次いでいる。現状では、それに代わる新規取引先の導入も決まっていないことから、引き続き、衣料雑貨関連の動きは厳しいままと想定している。
▲	スーパー（商品部担当）	・新型コロナウイルスの影響で、輸入商材の供給不足問題、天候不順による農作物価格の高騰、収入減等、今後、多方面で厳しい状況が続きそうである。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で自粛が続いており、客の来店は見込めない。
▲	住関連専門店（店長）	・特別定額給付金給付のタイミングでは、高額商材の購入も増える。ただし、全体的に収入の減っている人が多い上、従来では使用頻度が低かった物への支出が増えているため、大きな買物は減ると想定される。
▲	スナック（経営者）	・6月から営業を再開する予定である。今まで自粛をしていたので、客が戻ってくるかどうかの不安もある。売上は伸びることはあり得ないような気がする。
▲	競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの影響で、いつになったら普通の活動に戻れるか、全く分からない。
▲	設計事務所（所長）	・緊急事態宣言中に受けた影響が、すぐに出る業種とそうでない業種がある。また、緊急事態宣言解除で、回復する業種もあるが、一旦大きく不景気になったあおりが、全体的に出てくるのではないかと。
×	商店街（代表者）	・持続化給付金等を利用しても、資金繰りの遅れによって、閉店や倒産が増えるのではないだろうか。いろいろな貸付制度の広報の充実が図られると、この先、安心できる。

	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが流行してしまったため、来客数が全然ない。
	×	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・新型コロナウイルス感染防止対応で緊急事態宣言が解除されたが、自粛は続き、減少状況がしばらく続く。
	×	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・研修施設等では下半期に未実施分を実施するとしているが、食堂での食数がカバーされるのかは不透明である。社員食堂等では、生産調整等で一度落ち込んだ分のばん回は、難しいのではないかと。レストランでの客足の戻りには相当に時間が掛かることに加えて、外食を含めたライフスタイルの変化も予想され、先々の見通しは悪い状態が続く。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの収束が見えない。
	×	タクシー運転手	・地方ではそう簡単に、以前のような状況には戻らない。
	×	タクシー（経営者）	・昼も夜も人の動きが悪いので、この先も悪いとみている。
	×	タクシー（役員）	・国の対策が最悪で、新型コロナウイルス騒ぎが全く収束しない。
	×	通信会社（経営者）	・全ては新型コロナウイルスの状況次第である。インフルエンザ並みに治療薬、ワクチンが普及するまでは経済の回復はあり得ない。当社は直接の影響は少ないものの、間接的な影響が出てくるのはこれからだと思われる。
	×	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響はまだしばらく続く。既に知合いの数社でも解散や倒産を余儀なくされている。そのようななか、政策系金融機関は借入れすら厳しい審査で排除している。これでは地方の中小零細企業は、潰れるといわれているようなものである。
	×	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、悪くなる。
	×	テーマパーク（職員）	・レジャー業は、他の全ての職種や業種の景気回復後に、恩恵を受ける業種であることから、営業再開しても、その道のりは大変厳しい。
	×	美容室（経営者）	・間違いなく想像以上に、景気は、業種に関係なくひどく落ち込む。消費者の気持ちは「油断禁物」である。ここで気持ちに緩みが起こらないように外へは出ない。病気にかかれば自己責任と言われそうで、そのことが様々なブレーキをかけている。この状況は長く続く。
	×	美容室（経営者）	・恵まれた者が弱い者を助けるのは責務である。その財力は、世のため人のために使わなければならない。決して、私腹を肥やすことは許されない。
	×	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・通常の間引く不景気に加えて、新型コロナウイルスの影響による追い打ちが厳しい。
	×	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルス問題が解決し、平常に戻らなければ、景気は良くならない。
企業 動向 関連  (北関東)	◎	—	—
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・工場稼働を停止していた主要取引先でも、徐々に稼働を再開させる見込みであり、これ以上悪くなることはない。
	○	不動産業（経営者）	・夏にかけて、設備の保守メンテナンスが増え、繁忙期となるため、良くなる。
	○	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合いの様子から予想すると、今後、営業活動ができれば受注量は増加する。
	□	化学工業（経営者）	・現状より悪くならないよう活動することに精一杯で、過度の期待は禁物と考えている。現状維持できればと期待をこめて、変わらないと予想している。
	□	金属製品製造業（経営者）	・得意先との雑談から、変わらないと判断している。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先は十数社あり、2～3か月先には若干良くなる場所もあると思うが、ほとんどの会社が現状の悪いままで変わらない。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が、依然として残ると考える。
	□	輸送業（営業担当）	・今後は順調にいけば、夏物家電のエアコン、扇風機、また、緊急事態宣言解除による明るい材料もあり、レジャー用品、キャンプ、バーベキュー用品、夏物インテリア用品等の物量が増える予定である。しかし、今後も新型コロナウイルスによる感染増大となれば、景気も消費も落ちるので、予測の難しい状況が続いている。
	▲	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・公共事業の新年度予算が懸念される。
	▲	金属製品製造業（経営者）	・今後のことは全然予想が付かないため、とても不安である。
	▲	社会保険労務士	・特別定額給付金の10万円は出るが、夏のボーナスがどれだけ減るのか分からず、先行きはとても不透明である。

	×	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染対策や、今後の「新しい生活」スタイルや「新しい経済活動」がどのようになるのか、不鮮明なところが多い。今まで以上に真剣な会社経営、運営が求められている。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・家庭用レンジフードを作っているが、現状、ゼネコンが工事を止めた関係で、ぱったり止まっている。今は工事も再び動き始めたいが、他の工務店も「中国から部材が入らないので、家の工事が進められない」と言っている。当社のメインの仕事が、これから何か月間かは相当受注が落ちてくる。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの問題で、取引先の生産減少が続いている。
	×	輸送用機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言で、自動車ディーラーが時短営業を実施中で、積極的な営業活動ができていない。今後も感染拡大防止を優先するため、厳しい状況が続く。
	×	建設業（開発担当）	・世界に猛威を振るっている新型コロナウイルスは、日本でも3月から問題となっており、スーパーマーケット以外の全業種が厳しい状況におかれている。当社も、従業員の生命を一番に考え、事業の自粛を行っている。新型コロナウイルス対策は、今後も最重視していかざるを得ない。今は事業の維持を考えながら、新型コロナウイルスと向き合い、対策を実施していきたい。何よりも、人の命が一番である。
	×	建設業（総務担当）	・民間投資が明らかに落ち込むだろうし、先がどうなるか全く読めない。
	×	不動産業（管理担当）	・介護施設などで清掃回数を増やす等、多少売上増につながる話もある。しかし、一般的に取引先の経営状況も悪化しており、保守管理業務の見直しを行い今はとにかく支出を抑えたいという要望が多い。また、今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、更に悪化する懸念もあるため、先の見通しは暗い。
	×	広告代理店（営業担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、企業の資金繰り、雇用等、これから問題が顕在化してくるため、悪くなる。
	×	経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの影響が更に広い業種に及ぶことは確実で、受注や売上へのダメージが表面化している。観光地及び観光関連業種では、依然として厳しさが続く見通しであり、全業種で廃業が増加するのではないかと。
	×	司法書士	・地元企業の商業の落ち込みを工業で補っている街なので、今その工業が苦戦状態のなかで良くなるわけではない。かなり悪くなるのではないかと。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は大きく、サラリーマン、事業者、経営者等に大きな不安が残っている。希望的観測だが、徐々に上向いてくれるように、購入、購買力に活発さが見えてくるように願うところである。
	○	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響で、特に、観光収入の比率が多い近隣の市では、インバウンドも含めた観光客が戻ってくるのは、はっきりといつ頃までとは言えない状況だが、ホテル等の見方だと、本当に稼働が元に戻るのには2～3か月か半年後くらいではないかという話である。
	○	学校〔専門学校〕（副校長）	・新型コロナウイルス感染症の影響が減り、ワクチンも開発されれば、一気に経済は回復する。
	□	人材派遣会社（社員）	・秋冬にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大の第2波が想定される。新規採用を見送り、社内の体制見直しを検討する企業が多いと感じている。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響が、どの程度になるか分からない。
	▲	職業安定所（職員）	・現在は、サービス業を中心に求人が減少しているものの、他業種でも工場の稼働停止等の影響が出てくると思われる。
	×	人材派遣会社（管理担当）	・取引先で100名規模の派遣の雇止めがあるため、悪くなる。